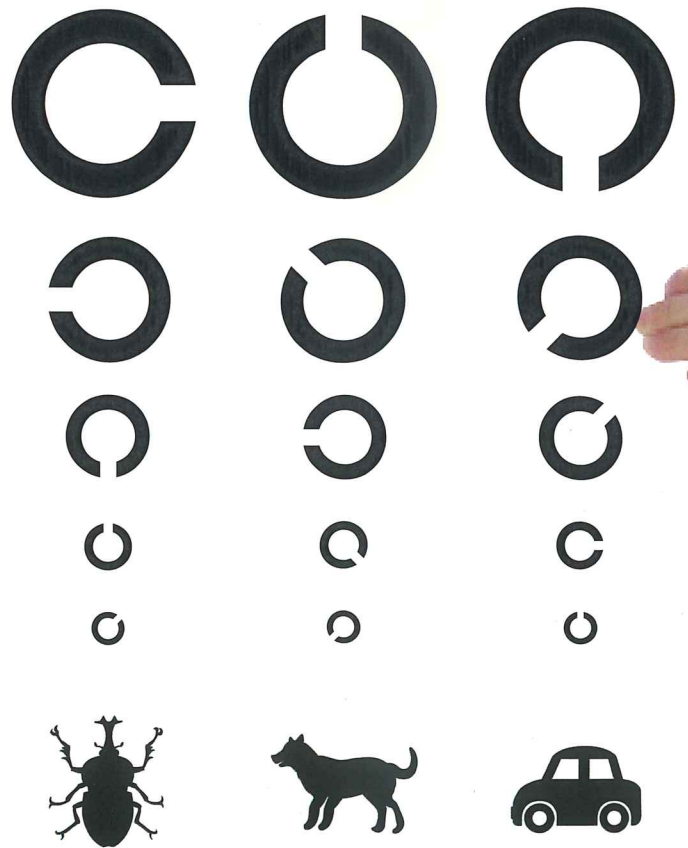


# ねえ、ママ。ぼくの目は、



## このようなことはありませんか

- 顔を傾けたり 横目で見たりする
- 極端に近くで見る
- 目の前で物を見せても 目で追ったりつかもうとしたりしない
- 初めての場所で 手をつなぎたがる
- 明るい所や暗いところに順応するのに時間がかかる
- 物にぶつかったり つまずいたりする



# だいじょうぶ？

# サインに気づけるのは周りの大人です。

## ●子どもの目のたらしきは 8歳くらいまでに完成します

生まれたばかりの赤ちゃんは、0.01 くらいの視力しかありません。生まれてから、ものを見ることによってだんだん目は発達し、視力のほか立体的にもものを見る機能なども、8歳くらいにほぼ完成するとされています。

見えにくさがあっても残された視力を使って、それぞれの見え方に応じた見方をするので、目が発達していきます。



## ●発見しにくい子どもの目の異常

乳幼児は、よく見えていない状態でも自分から「見えない」とはいいません。また、小さいうちは、ぼんやりしか見えていない状態でも、だいたい見えていれば、動くことができます。

そのため、周りの大人が気づいてあげることが大切です。



## ●早期発見，早期療育が大事です

子どもの目は発達の途上にあるので、早いうちに発見し療育につなげることが大切です。小さいうちから残された視力を使って「よく見たい」という気持ちを育てることは、その後の目の発達にとって、とても重要です。



## ●まずはお電話ください



茨城県立盲学校では、「見え方」に心配のある0歳～就学前までのお子さんの相談を行っております。少しでも心配なことがありましたら、遠慮なく下記までご相談ください。



まずはお電話ください。茨城県立盲学校 視覚障害教育支援センター

☎029-221-3388



「教育相談」について  
ホームページでもご覧  
いただけます。

相談を希望するときは「早期教育相談をお願いします」とお伝えください。  
係の者がお話を伺います。

※相談料無料。相談内容については外部にもらさぬよう厳守いたします。

また、本校入学とは関係ありませんので、安心してご相談ください。

